

福岡市美術館 令和2年度事業報告

令和3年3月23日

令和2年度福岡市美術館協議会

目次

1 概要

2 事業について

(1) 展示活動

(特別展、企画展、コレクション展、公募展・貸館利用等)

(2) 教育普及活動

(3) 収集活動 (購入、寄贈、寄託)

(4) 調査・研究活動

(5) 広報・集客に関すること 等

3 施設利用状況

4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

1 概要



- 開館 1979年11月3日開館
2019年3月21日リニューアルオープン
- 規模 鉄筋コンクリート 2階+塔屋
敷地面積25845.71㎡ 延床面積14713.66㎡ 建築面積8639.28㎡
- 展示室
 - 1階 東光院仏教美術室、古美術企画展示室、松永記念館室
 - 2階 近現代美術室（A～C）、特別展示室、ギャラリーA～F
- その他施設
 - 1階 ミュージアムホール、アートスタジオ、レクチャールーム
カフェ、ミュージアムショップ
 - 2階 キッズスペース、情報コーナー、レストラン
- 開館時間 午前9時30分～午後5時30分 月曜日休館
(7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館)

1 概要



■ 組織

※令和3年3月現在

- ・ 総館長
- ・ 運営部長（館長事務取扱）

事業管理課長	—	事業管理係 係長 1、事務 2、会計年度任用職員 1
学芸課長（運営部長兼務）	—	学芸係（近現代） 係長 1、学芸員 3
	—	主任学芸主事（古美術） 係長 1、学芸員 1、会計年度任用職員 2
	—	主任学芸主事（教育普及） 係長 1、学芸員 1、会計年度任用職員 2

2 事業について

- (1) 展示活動**
(特別展、企画展、コレクション展、公募展)
- (2) 教育普及活動**
- (3) 収集活動 (購入、寄贈、寄託)**
- (4) 調査・研究活動**
- (5) 貸館利用**
- (6) 広報・集客に関すること 等**

(1) 展示活動



特別展

- ・ボストン美術館展 芸術×力 (新型コロナウイルスの影響により中止)
- ・藤田嗣治と彼が愛した布たち (令和2年10月17日～12月13日、18,178人)
- ・ヒグチユウコ展 CIRCUS (令和2年12月24日～3年2月7日、21,106人)

企画展

- ・ソシエテ・イルフは前進する (令和3年1月5日～3月21日)
- ・門田コレクション 中国陶磁4000年の旅 (令和3年2月2日～4月11日)

コレクション展

- ・近現代美術
- ・古美術

公募展・貸館利用

- ・福岡市美術展 (第51回令和2年3月31日～4月3日、第52回令和3年3月30日～4月4日)
- ・令和2年度貸館利用 72件 45,763人 ※2月末現在

(1) 展示活動



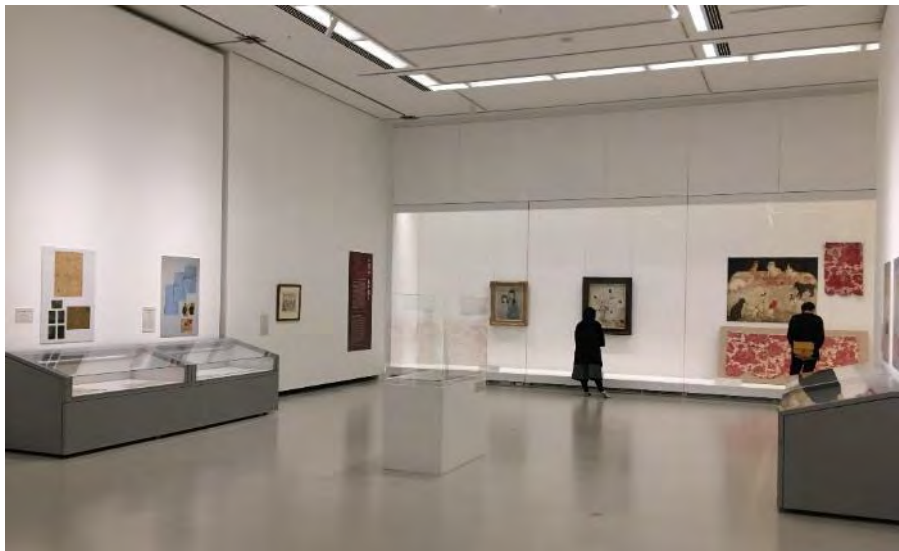
特別展

藤田嗣治と彼が愛した布たち

会期	令和2年10月17日～12月13日 50日間
主催	福岡市美術館、TVQ九州放送、西日本新聞社
観覧者数	18,178人（有料13,746人）
内容	<p>藤田嗣治（1886-1968）は染織品や衣装を生涯愛し、それらを作品中に描いた。本展は、画中に描かれた布や衣装について解き明かし、メゾン＝アトリエ・フジタ所蔵の、藤田が愛蔵した染織品を作品とともに展示。藤田の画業に新しい光を当てる。</p> <p>また藤田は、針仕事にも熱心であったことが知られている。そうした側面にも注目し、藤田が収集した布や、自ら製作した衣服や小物を展示。藤田のフランスでの生活、日本への思いを、彼の針仕事から読み解く。</p>
会期中の 主な イベント	<p>10/25 講演会「藤田嗣治と彼が愛した布たち」講師：岩永悦子</p> <p>11/6 講演会「フジタよ眠れー菊畑茂久馬の戦争画論を読む」 ＋上映会「絵描きと戦争」講師：山口洋三</p> <p>12/6 つきなみ講座スペシャル 「藤田嗣治の戦争画《神兵の救出到る》を読み解く」 講師：岩永悦子</p>



(1) 展示活動



(1) 展示活動



特別展

ヒグチユウコ展 CIRCUS

会期	令和2年12月24日～3年2月7日 34日間
主催	福岡市美術館、TVQ九州放送、朝日新聞社
観覧者数	21,106人（有料18,019人）
内容	空想と現実を行き交う自由な発想とタッチで、作品制作のみならず絵本の刊行など幅広く活躍する画家ヒグチユウコ。初の大規模個展として約20年にわたる画業において生み出された500点（小品を含むと1000点）を超える作品を展示。原画の展示はもちろん、他作家とのコラボレーションによる人形、そして工夫を凝らした空間構成によって、猫や少女、キノコ、不思議ないきものたちが繰り広げるサーカス（CIRCUS）の世界が展開した。
会期中の 主な イベント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り



展覧会ポスター

(1) 展示活動



企画展

ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画

会期	令和3年1月5日～3月21日 73日間
会場	近現代美術室B
観覧者数	9,600人 (2月末現在) ※会期中のコレクション展示観覧者数
内容	1930年代半ばの福岡で結成された前衛美術グループ、ソシエテ・イルフの回顧展。写真家、画家、工芸家からなる7人の主要メンバーはモダン都市として発展する福岡に集い、限られた活動期間のうちにシュルレアリスムや抽象表現を志向した写真・絵画の制作・工芸品のデザインを行っていた。本展ではメンバーの作品のほか、制作背景を示すアルバムや写真雑誌等を展示し、新出資料を加えて34年ぶりに彼らの足取りを再検証した。
会期中の主なイベント	2/27講演会「前衛写真（フォト・アヴァンギャルド）」の行方 —〈ソシエテ・イルフ〉を巡る写真家たち— 講師：竹葉丈（名古屋市美術館学芸員） 3/6講演会「趣味と報国：ソシエテ・イルフをもっとよく知るための写真史1920-1942」 講師：若山満大（インディペンデント・キュレーター）

ソシエテ・イルフは前進する
福岡の前衛写真と絵画
Societe IIRF Moves Forward
Avant-Garde Photographs and Paintings of Fukuoka

高橋渡 (Takahashi Wataru)
久野久 (Kuno Hisashi)
許斐儀一郎 (Koshiba Goro)
田中善徳 (Tanaka Yoshinori)
吉崎一人 (Yoshizaki Kazuo)
小池岩太郎 (Koike Iwataro)
伊藤研之 (Ito Kenji)

前進の推進力は美に對する吾々の探求精神である

2021年1月5日[火]—3月21日[日]
休館日[月曜] (1月11日・2月15日・3月1日) 観覧時間 [9:30-17:30] (17:00最終入館)
福岡市美術館 近現代美術室B
主催 | 福岡市美術館 助成 | 山崎文化財団基金、早稲田文化財団 協力 | MEMO

福岡市美術館 FUKUOKA ART MUSEUM

(1) 展示活動



企画展

門田コレクション 中国陶磁4000年の旅

会期	令和3年2月2日～3年4月11日 60日間
会場	古美術企画展示室・松永記念館室
観覧者数	5,172人（2月末現在） ※会期中のコレクション展示観覧者数
内容	博多の老舗提灯店の前店主・門田敏郎氏が長年にわたって蒐集された、中国古陶磁を中心とするコレクションが2016年、当館へ一括寄贈された。このコレクションは、新石器時代の土器にはじまり、漢、唐、宋、元、明、清の各時代の陶磁器を集め、まるで中国陶磁史を照らし出すかのような充実した内容を誇る。本展はその受贈を記念し、146点の作品により門田コレクションの全容をお披露するもの。
会期中の 主な イベント	2/20 つきなみ講座 「福岡市美術館の中国陶磁」 講師：後藤恒（当館主任学芸主事）

企画展
門田コレクション
中国陶磁 4000年の旅

漢、唐、宋、元、明、清…
中国陶磁史を照らし出す

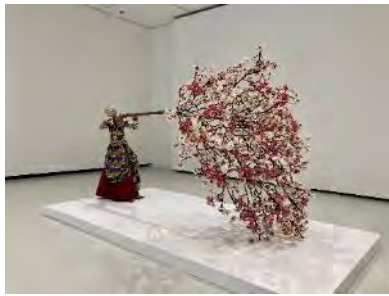
The Kadota Collection
4000 Years of Chinese Ceramics

2021年2月2日[火] - 4月11日[日]
休館日 月曜日 [開館時間] 午前9時30分～午後5時30分

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM
1階 古美術企画展示室・松永記念館室

(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



平成元年の日本人像

4/28～6/28

近現代美術室A



新収蔵品展（近現代美術）

4/28～6/28

近現代美術室B



殿敷侃

6/30～8/30

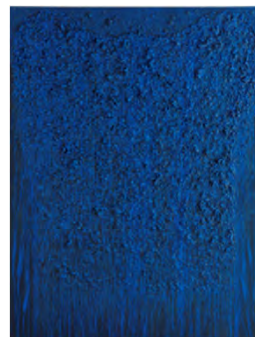
近現代美術室B



抽象と具象のあいだー甲斐巳八郎を中心に

9/1～10/25

近現代美術室A



菊畑茂久馬：「絵画」の世界

9/1～10/25

近現代美術室B



藤田嗣治と関わった画家たち

10/27～12/27

近現代美術室A



纏うわたし、見るわたしーやなぎみわとりサ・ミルロイ

4/28～6/28

近現代美術室A

(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



モダン・フォトグラフィーI:
ヨーロッパ

1/5～2/14

近現代美術室A



モダン・フォトグラフィーII:
日本

2/16～3/28

近現代美術室A

(1) 展示活動

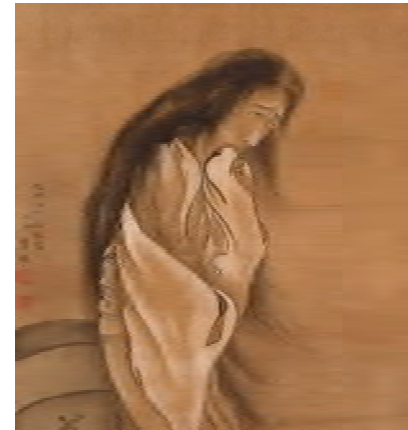
コレクション展 古美術



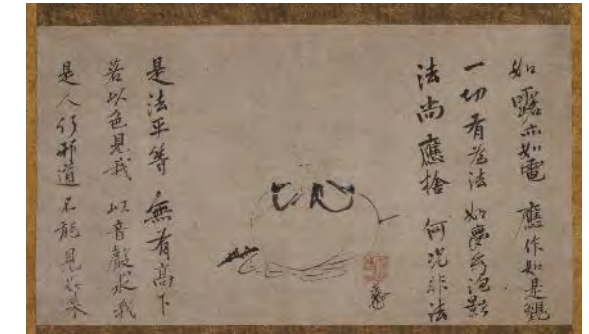
東光院のみほとけ
通期
東光院仏教美術室



田中丸コレクション
うつわ歳時記
4/14～6/14
古美術企画展示室



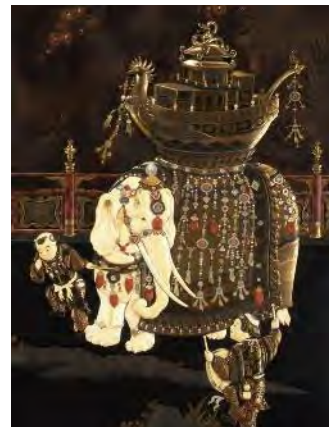
新収蔵品展 (古美術)
4/14～6/14
古美術企画展示室



芸術とパトロン
6/16～8/30
古美術企画展示室



仙厓展 (コーナー展示)
6/16～11/15
古美術企画展示室



アンティークどうぶつ園
9/1～11/15
古美術企画展示室



風を視る
11/17～2021/1/31
古美術企画展示室



インド更紗から
アフリカプリントへ
11/17～2021/1/31
古美術企画展示室

(1) 展示活動

コレクション展 古美術



特別展示
国宝金印「漢委奴国王」

12/8～2021/3/28

古美術企画展示室



春の名品展

4/14～6/14

松永記念館室



秋の名品展

9/1～11/15

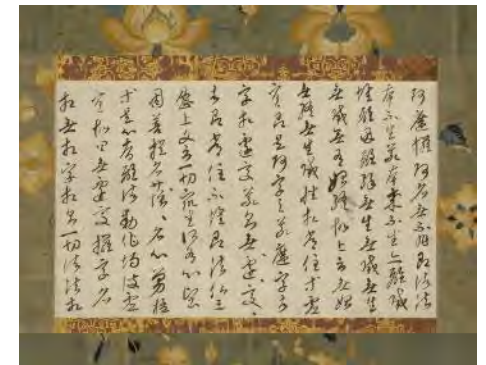
松永記念館室



コプト裂と
古代オリエント文物

6/16～8/30

松永記念館室



茶道具としての仏教美術

11/17～2021/1/31

松永記念館室

(1) 展示活動



公募展

第51回福岡市美術展（令和2年3月31日～4月12日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館により4月3日で終了（4日間）

内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催する公募展。 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門について一般公募
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 出品点数914点 626点が入選、特別賞など入賞71点 観覧者数678人



- 第52回は令和3年3月30日～4月4日で開催予定
- 第52回はデザイン部門を拡充、出品点数**739**点。入選**393**点、特別賞など入賞**70**点



第51回特別賞
《4次元ポケット》



第52回特別賞
《天-甘木絞りにてー》

(2) 教育普及活動



教育普及活動について

「アートと生きる」を活動方針に、展覧会を見るだけではない、利用者がより能動的な学びと楽しみを得られる活動を「教育普及活動」として行っている。

また、美術館に来にくい来られない人も「利用者」として考え、美術を楽しめる企画を実施。

主な取組み

- ・ こども・家族向けプログラム（夏休みこども美術館、ファミリーDAY）
- ・ 大人向けプログラム
（つきなみ講座、いきヨウヨウ講座、ギャラリートツアー、英語ツアー）
- ・ アウトリーチ活動（どこでも美術館アウトリーチ（遠隔地の学校、公民館等））
- ・ 学校向けプログラム（スクールツアー、どこでも美術館ティーチャーズプラス）
- ・ ボランティア活動

令和2年度の新たな取組み

- ・ バリアフリーギャラリートツアー
- ・ 3館連携認知症患者のための回想法プログラム

(2) 教育普及活動

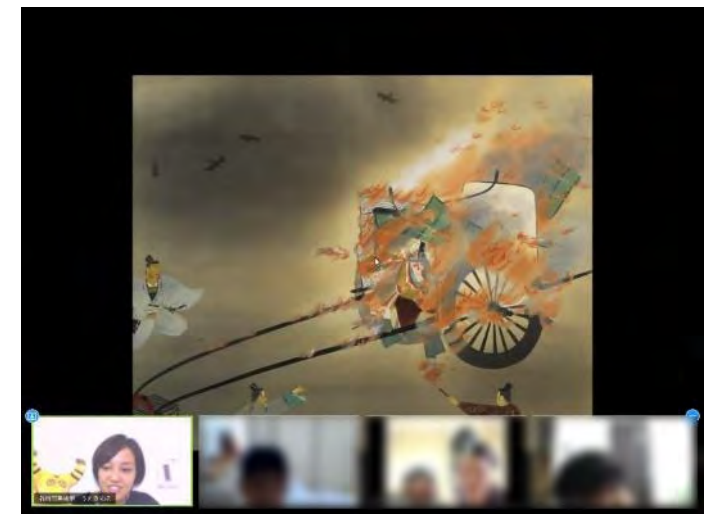
こども・家族向けプログラム

夏休みこども美術館2020「みるみるこわい絵の世界」

期間	令和2年6月30日～8月30日 期間中の中学生以下の来館者数 1,579人
内容	毎年開催する子ども向けプログラム。 令和2年度は「こわい」をテーマに所蔵品を使った子ども向け展覧会を開催。ワークシートを配布した。 関連事業として対面ワークショップと双方向のオンラインギャラリートークを実施。 また、「夏休みこどもとしょかんSNS版」ではこども向け図書をSNS上で紹介した。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> こどもワークショップ 「きってはってこわい絵をつくろう！」 (8/8、23 参加者：29人) オンラインでみるみるこわい絵の世界 (8/12、17 参加者：18人)



チラシおよびワークシート



「オンラインでみるみるこわい絵の世界」のようす

(2) 教育普及活動

ファミリーDAY

期間	令和2年10月31日、11月1日、11月3日 期間中の中学生以下の参加者数 延べ861人
内容	家族で美術と美術館を楽しんでもらうため、3日間で館内各所でワークショップ等を実施する企画。毎年実施しているが、今年は、館内で子どもと保護者の鑑賞を助けるワークシートを2種類配布。対面型のワークショップの他、オンラインワークショップ、オンラインギャラリートークを行った。また、福岡市動物園の協力を得た動画や家でできる工作動画の配信も行った。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 「ガイドマップで君もアートマスター」 「かいとうキッズ お宝みっけ！」 ・対面・オンラインワークショップ 「つくろう！羽ばたく色とり鳥」 ・オンラインギャラリートーク 「赤ちゃんと一緒に初めてのアート」 「オンラインで行く「アンティーク動物園」」 ・動画 「おうちでアート3分ワークショップ」 「飼育員さんとみる美術館の動物たち」



「はばたく色とりどり オンライン」のようす



飼育員さんとみる美術館の動物たち

(2) 教育普及活動



大人向けプログラム

つきなみ講座

期間	毎月1回(ただし4月中止) 参加者312人 ※2月末現在
内容	毎月1回学芸員をはじめとした美術館職員が、自身の研究や取組、興味について一般向けに話す講座。



いきヨウヨウ講座「自分色をつくる」

期間	令和3年3月14日 参加者数15人
内容	65歳以上を対象としたワークショップ。令和2年度は作品鑑賞後、オリジナルの水彩絵の具を作成。



ギャラリーツアー

内容	ボランティアが来館者に向け所蔵作品を3点紹介する対話型ギャラリーツアー。 1日2回実施。
----	---

英語ツアー

内容	およそ週1回ボランティアが英語でコレクション展を紹介するハイライトツアー
----	--------------------------------------

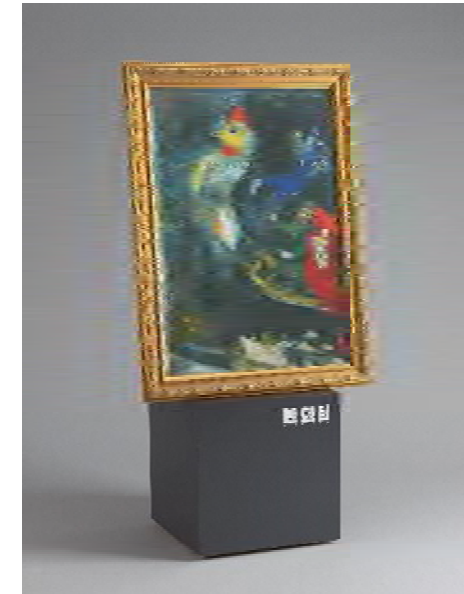
※2つのツアーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 教育普及活動

アウトリーチプログラム

どこでも美術館 アウトリーチ

期間	令和2年6月～9月
内容	美術館に来にくい、あるいは来られない子どもや高齢者のために、学校や公民館、病院などに、所蔵品の複製画などの教材を持ち出し、鑑賞・制作活動を行うプログラム。
実施数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校 1件 101人 ・ 公民館等 (子ども含む) 9件 152人



(2) 教育普及活動

学校向けプログラム

スクールツアー

内容	ボランティアによる学校向け対話型鑑賞ツアー
実施件数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※スクールツアーは実施しなかったが、簡単なレクチャーを実施した学校数は以下の通り

実施件数	7件 523人 ※2月末現在
------	----------------



どこでも美術館 ティーチーズプラス

内容	学校等に「どこでも美術館」の教材を貸し出し、授業に活用してもらうプログラム。
貸出件数	2件 ※2月末現在



(2) 教育普及活動

ボランティア活動

内容

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始。

現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。

また、ギャラリーガイドボランティアの中から希望者を募り、令和元年5月から英語ボランティアの活動を開始した。

なお、令和2年度は、ギャラリートツアーが中止となっているため、ギャラリーガイドボランティアは勉強会を月1回実施している。

各ボランティア 在籍数

- ・ ギャラリーガイドボランティア 91人
- ・ 新聞情報ボランティア 45人
- ・ 図書整理ボランティア 26人
- ・ 美術家情報整理ボランティア 16人
- 計 178人



図書整理ボランティア活動のようす



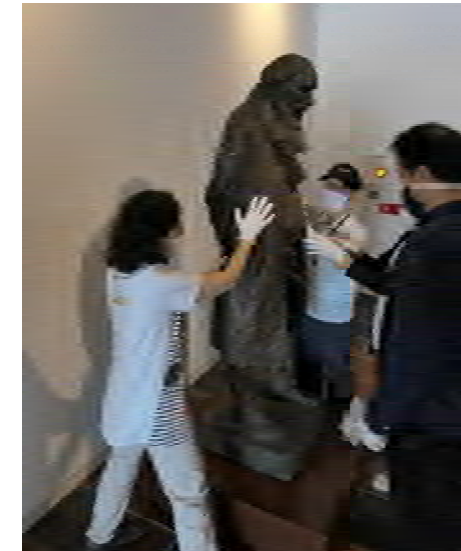
ギャラリーガイドボランティア勉強会のようす

(2) 教育普及活動

令和2年度の新たな取り組み

バリアフリーギャラリーツアー

期間	令和2年8月29日、30日、9月6日
内容	視覚障がい者、聴覚障がい者、車椅子利用者のためのコレクション展示ギャラリーツアーを実施。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー（実施日：8月29日 参加者：10人） ・聴覚障がい者のための目で聴くツアー（実施日：8月30日 参加者：10人） ・車いす利用者のためのもみなで車いすツアー（実施日：9月6日 参加者：9人）



視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー

福岡市ミュージアム・シニア・プログラム

期間	令和3年2月2日、9日、16日、23日、25日 参加者：3人
内容	福岡市博物館、福岡アジア美術館と連携した認知症患者のためのオンライン回想法プログラム。各館の所蔵品を手掛かりに、昔のことを語ってもらい、活性化をしてもらうという内容であった。当館は富田溪仙《御室の桜》複製屏風を作成。それを鑑賞し、桜の思い出を語ってもらった。文化庁の補助金により実施。



(3) 収集活動（購入、寄贈、寄託）



購入

◆新規収集（いずれも古美術）

- ・仙厓義梵筆・太室宗宸賛《寒山拾得図》 江戸時代19世紀
- ・《草花文様木版更紗掛布》 インド19世紀
- ・《小花文様木版更紗布地》 ヨーロッパ19世紀
- ・《ジュイ布ベッドスカート》 フランス18世紀

◆福岡市文化芸術振興財団からの買戻し

- ・仙厓義梵《海老図》

寄贈

- ・近現代美術 21点（油彩、版画、写真）
- ・古美術 2点（絵画、染織）

寄託

- ・近現代美術 29点（西日本シティ銀行所蔵品28点、その他1点）
- ・古美術 なし

(3) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

購入

◆新規収集（いずれも古美術）



《草花文様木版更紗掛布》

インド19世紀

木版捺染・掛布、裏地付
255.5 × 241.1cm

《寒山拾得図》

仙厓義梵（1750-1833）筆
太室宗宸（1763-1847）賛

紙本墨画・掛幅装
90.0 × 27.1cm



《ジュイ布ベッドスカート》

フランス18世紀

木綿・掛布
79.0 × 202.0cm



※「ふるさと応援寄付」による

《小花文様木版更紗布地》

ヨーロッパ19世紀

木綿、木版浸染・捺染、布地
89.0 × 933.0cm

(3) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

寄贈

・近現代美術 21点
(油彩、版画、写真)

・古美術 2点
(絵画、染織)



赤星信子《花咲く庭》

1955年 油彩

99.5 × 80.3



《左羅紗便覧》

蓬萊山人帰橋
安永7年（1778）

紙本木版・冊子装
26.1 × 17.3cm

(3) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

寄託

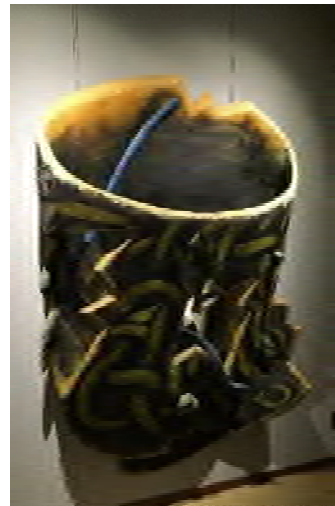
- ・近現代美術 29点
（西日本シティ銀行所蔵品28点、その他1点）



ヘンリー・ムーア 《ふたつのかたちによる
横たわる人体 No.2》

1960年 彫刻

137.5 × 280 × 137.5cm



エリザベス・マーレイ 《Barely Touching》

1989年 油彩等

161.0 × 228.5 × 44.1cm



野見山暁治 《穹》

1983年 油彩等

195.9 × 245.1cm

(4) 調査・研究活動

紀要の発行

『福岡市美術館研究紀要』
第9号
(令和3年3月発行予定)



福岡市美術館
研究紀要

第9号

サルバドール・ダリ《ホルト・リガトの聖母》に隠された楕円の謎	渡抜由季	1
福岡市美術館所蔵 狩野探幽《瀧図》再考	錦織亮介	9
福岡市美術館における高齢者対象プログラムについて ～内容・意義・課題～	鬼本佳代子	19
美術館とフェミニズム ——福岡市美術館の現状について	正路佐知子	28
酒井抱一旧蔵 伝・源実朝筆《日課観音図》をめぐって	岩永悦子	38
『雲中庵茶会記』翻刻稿 ⑤	後藤恒	74

2021年

(5) 貸館利用



貸館利用

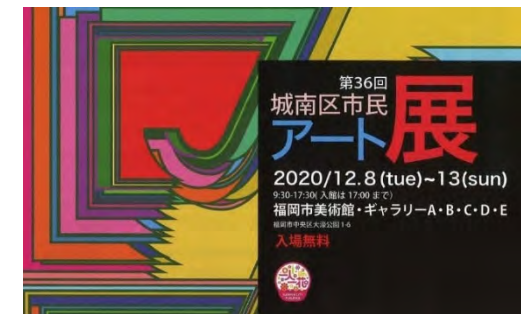
【展示室】

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー（最大6室）特別展示室を貸出（年2回募集、1週間単位での利用）
- ・ 令和2年度利用状況 72件 45,763人 ※2月末現在



【ホール等】

- ・ 文化芸術・学術に関する講演会や講座、ワークショップ、イベントなどの利用に際してミュージアムホール、レクチャールーム、アートスタジオのほか、ロビーや1,2階の屋外を貸出
- ・ 令和2年度利用状況 260件 7,572人 ※2月末現在



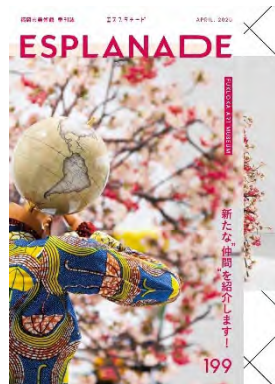
FUKUOKA ASIA DESIGNERS SHOW (FADS) 2020
Costume designer ARAKI SHIRO

(6) 広報・集客に関すること 等



広報活動

- ・ 季刊誌「エスプラナード」を年4回、各号10,000部発行
- ・ 展示・イベント実施等に関する報道・出版各社への情報提供
- ・ HPブログやFacebook, Twitter, Instagramなど各種SNSによる美術館情報の発信



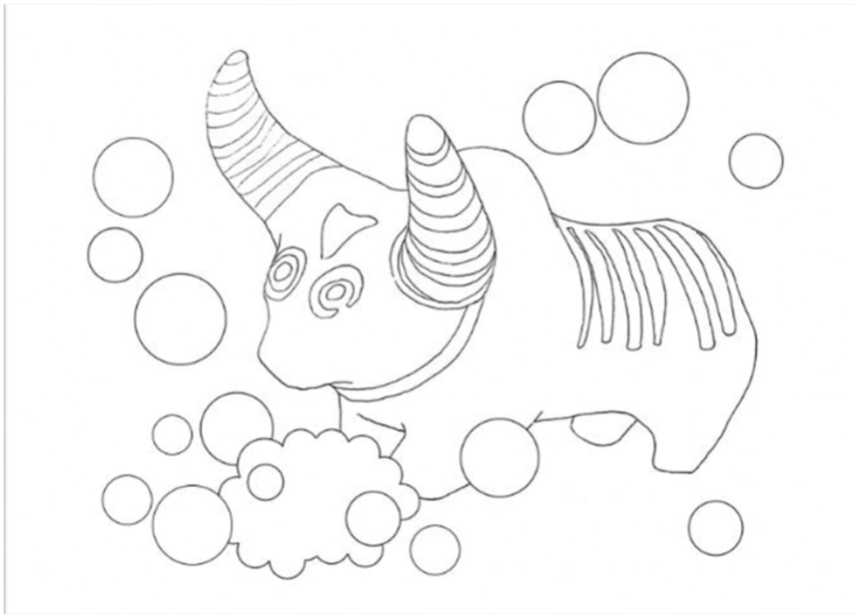
(6) 広報・集客に関すること 等

広報活動

・オンライン大作戦！

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館中、また開館後も美術館に行きづらい方や、来られない方たちのために、SNSやHPブログを通して積極的に情報を発信。

「ぬりえ」のダウンロードや所蔵品紹介、アーティストによる工作動画配信、美術館の裏側紹介などを行った。



ぬりえのダウンロード



美術館の裏側を紹介する動画
 すべて見せます！ 重要文化財の十二神将像 展示替え作業

(6) 広報・集客に関すること 等



集客事業

- ・ 展示以外でも美術館を気軽に利用してもらえるよう、落語や演奏会、映画上映等の多彩なイベントを実施
※ 美術館PFI事業を担う福岡アートミュージアムパートナーズ(株)主催
- ・ 令和2年度は10件のイベントを予定していたが、**新型コロナウイルスの影響により5件、来館者1,637人**となった。（令和元年度は6件、来館者4,618人）



その他（連携・協力事業等）

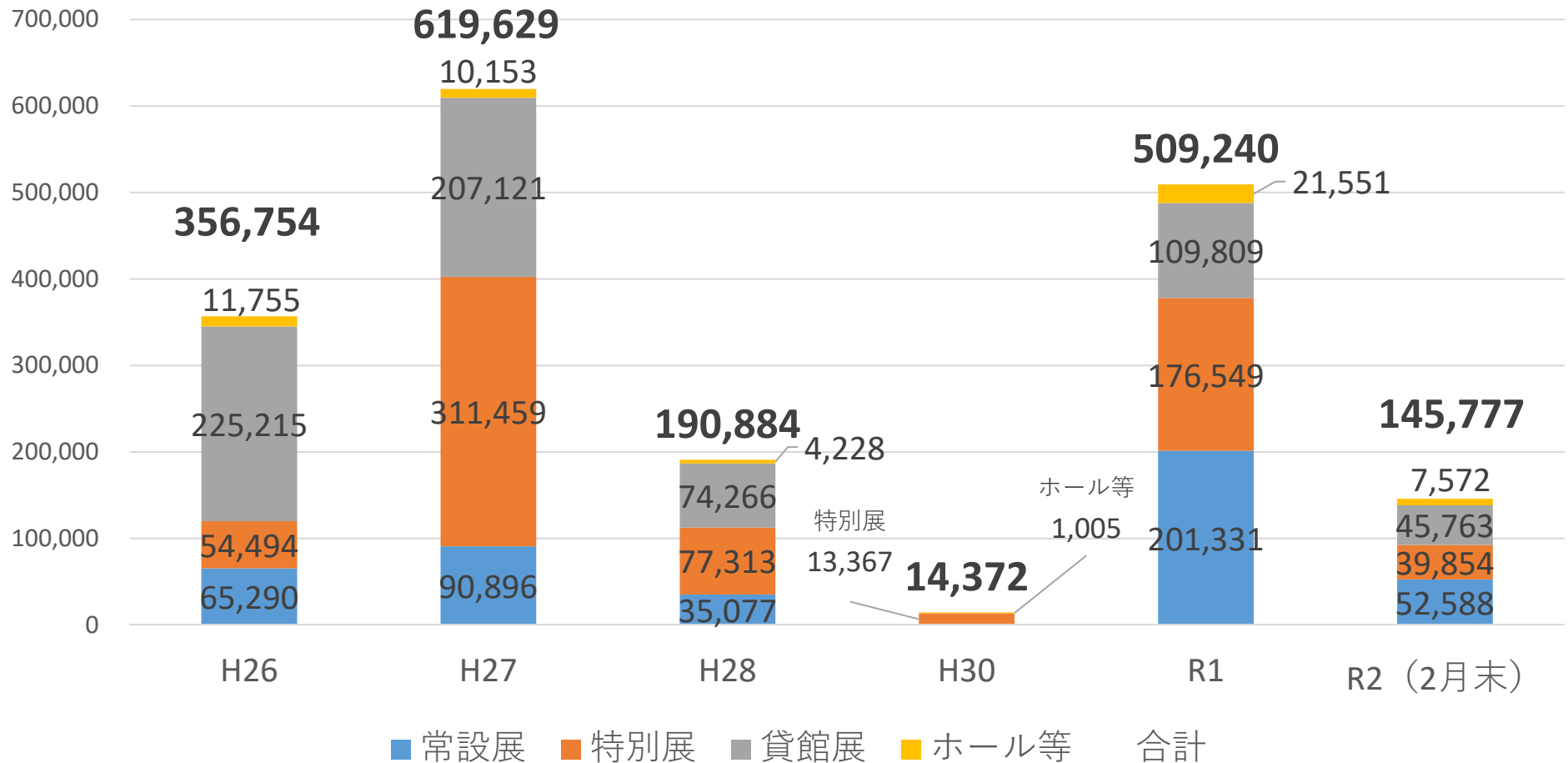
- ・ 福岡ミュージアムウィーク2020（**新型コロナウイルスの影響により中止**）
- ・ 地下鉄大濠公園駅の賑わい創出（3番出口装飾）



3 施設利用状況



施設利用者数の推移



※H28.9.1～30.3.20までリニューアル改修による休館

※新型コロナウイルスの影響によりR2.2.27～3.20、4.5～5.18は臨時休館

4 その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館

【令和元年度】 2 / 2 7 ~ 3 / 2 0

【令和2年度】 4 / 4 ~ 5 / 1 8

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 入館時の検温（1,2Fにサーモカメラ設置）マスク着用及び手指消毒の徹底
- ・ 施設内の定期的な消毒
- ・ 利用人数の制限（展示室，ホール等）
- ・ 券売カウンターやレジでの飛沫感染予防（アクリル板等の設置）
- ・ 受付時等の来館者同士の距離の確保
- ・ キッズスペースの利用中止 等

福岡市美術館 令和3年度事業計画

令和3年3月23日

令和2年度福岡市美術館協議会

目次

1 令和3年度予算案

2 主な事業、取組みについて

展示（特別展・企画展）

教育普及活動

ほか

1 令和3年度予算案



美術館費予算案の概要

内容	予算額 (千円)	備考
【歳入】	41,860	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など
【歳出】	780,464	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費など

◇主な取り組み

Fukuoka City Wi-Fi のエリア拡充

1、2階ロビーは設置済み。

令和2年度宿泊税予算にて設置した各展示室等へのWi-Fiが
令和3年度より稼働開始。

2 主な事業、取組みについて



特別展

高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの

会期	令和3年4月29日～7月18日 70日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、FBS福岡放送
内容	日本のアニメーションに新たな可能性を切り開き、多くのアニメーション作家に影響を与えた高畑勲（1935-2018）。本展では、「火垂るの墓」、「かぐや姫の物語」などを手掛けた「高畑演出」のこだわりを、制作ノートや絵コンテ、原画、セル画、映像等多数の資料で紹介。その「こだわり」がどのように日本のアニメーションを進化させ、他の作品に影響を与えていったのか一未公開資料も紹介しながら、その豊かな作品世界の秘密に迫る。
会期中の主なイベント	講演会、映画「かぐや姫の物語」、「柳川掘割物語」の上映会を開催予定。



2 主な事業、取組みについて

特別展

没後50年 電力王・松永安左エ門の茶

会期	令和3年10月9日～11月21日 38日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社
内容	<p>戦前戦後の日本の電力界で活躍した実業家・松永安左エ門（1875－1971）は、「耳庵」と号する茶人でもあった。本格的に茶の湯の世界に足を踏み入れたのは還暦が近づく昭和9年（1934）頃。埼玉に構えた柳瀬山荘に雌伏するや破竹の勢いで名品を蒐集し、戦中も茶の湯三昧の日々を送りながら、茶人としての名声を上げていった。戦後、電気事業再編成を主導し「電力の鬼」と呼ばれた頃も、小田原に構えた老櫓荘で、激務の間隙を縫って自由無碍の茶を愉しんだ。</p> <p>本展は、松永コレクションの美術品を中心に、実業家・茶人両側面から松永の足跡を辿る。</p>
会期中の 主な イベント	記念講演会等

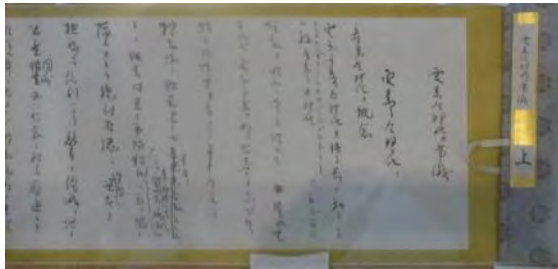


2 主な事業、取組みについて

特別展

没後50年 電力王・松永安左エ門の茶

会期 令和3年10月9日～11月21日 38日間

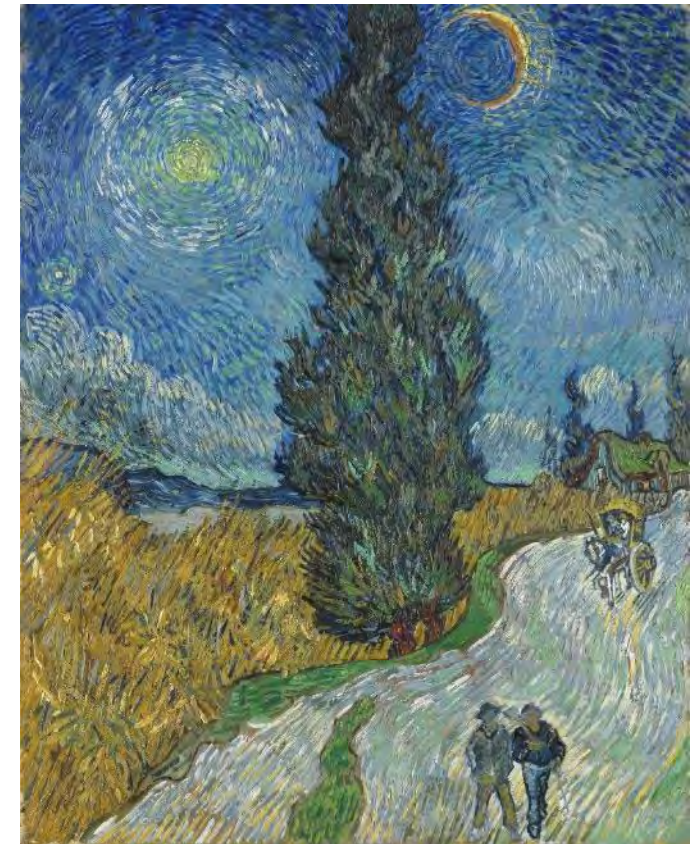


2 主な事業、取組みについて

特別展

ゴッホ展

会期	令和3年12月23日～令和4年2月13日（日）43日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送
内容	フィンセント・ファン・ゴッホ（1853-1890）の世界最大の個人収集家、ヘレーネ・クレラー＝ミュラー（1869-1939）。彼女はゴッホに魅了され、画家がまだ評価の途上にあった1908年からおよそ20年間で、約90点の絵画と180点を超える素描・版画を収集した。ヘレーネが初代館長を務めたクレラー＝ミュラー美術館のコレクションに加え、ファン・ゴッホ美術館が所蔵する選りすぐりのゴッホ作品52点を含む全72点を紹介する。
会期中の 主な イベント	未定



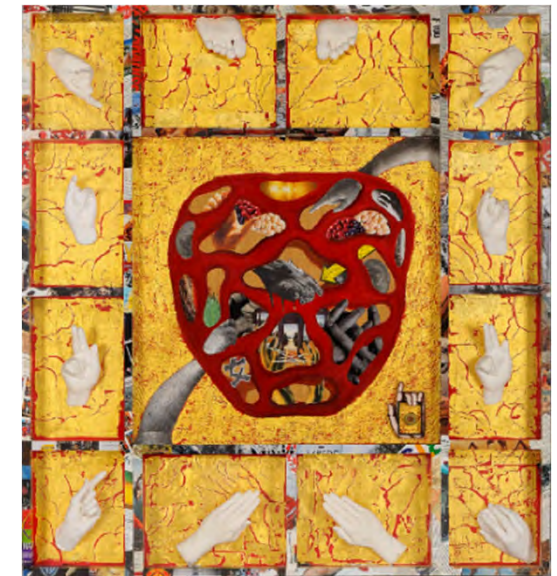
フィンセント・ファン・ゴッホ
《夜のプロヴァンスの田舎道》
1890年
クレラー＝ミュラー美術館蔵

2 主な事業、取組みについて

企画展

田部光子展

会期	令和4年1月5日～3月21日 66日間
会場	近現代美術室A・B
内容	<p>田部光子（1933年生まれ）は福岡の戦後美術そして女性の表現者たちを牽引してきた美術家。同時代の社会の動きに反応し制作された《プラカード》や、非常に早い時期に発表されたフェミニズムアートとして近年注目を集めている《人工胎盤》をはじめ、実体験と日々の思考から生まれた田部の作品は、観る者に強く訴えかける。本展では、これまであまり紹介されてこなかった1970-80年代の活動にも光を当て、作品・資料を再検証し、九州派時代から現在にいたるまでの田部の活動の軌跡をたどる。</p>
会期中の 主な イベント	講演会やギャラリートークを予定。



上：《魚族の怒り》1959年
 下：《Sign Language》1996年／2010年

2 主な事業、取組みについて

企画展

シンガポールスタイル：1850－1950

リー・コレクションとクスマ・コレクションより（仮称）

会期	令和4年1月19日（水）～3月27日（日） 59日間
会場	古美術企画展示室
内容	<p>インドネシアのバティックやスマトラの染織を中心とした「クスマ・コレクション」と、東南アジアの中国系移民である「プラナカン」の女性が身に着けた、バジュ・パンジャン（ひざ丈の長い上衣）を中心とした「リー・コレクション」。</p> <p>クスマ・コレクションはボトムス中心で、リー・コレクションはトップス中心。本展は、福岡市美術館の染織作品を代表するふたつのコレクションをコーデして、19世紀から20世紀にかけてのファッションとして紹介する。</p>
会期中の 主な イベント	未定



《クバヤ（ブラウス）》
 シンガポール 20世紀
 リー・コレクション

2 主な事業、取組みについて



教育普及活動での主な取組み

- ・ バリアフリーギャラリーツアー（5月、8月、9月）
- ・ 夏休みこども美術館2021（7月20日～9月12日）
- ・ ファミリーDAY（11月3日～7日）
- ・ つきなみ講座（毎月1回）
- ・ いきヨウヨウ講座（6月、令和4年3月）
- ・ どこでも美術館 アウトリーチ（6月～9月） ティーチャーズプラス（通年）
- ・ ボランティア（令和2年度同様、人数や活動回数を減らして活動継続）

★コロナ禍により、スクールツアーが再開できない場合も想定し

学校向けにワークシートプログラムやオンラインプログラムを実施予定

2 主な事業、取組みについて

大型屋外彫刻作品の設置

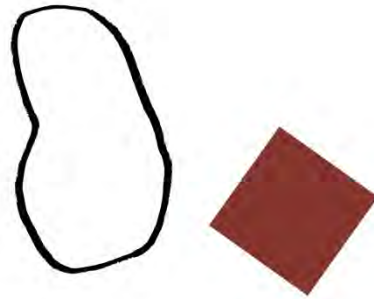
作品名：「ウィンド・スカルプチャー（SG）Ⅱ」
作家：インカ・ショニバレ C B E
大きさ：7×2.5×2(m)

市制130周年、当館開館40周年を記念して、当館アプローチ広場に設置予定。当館が所蔵する布の柄をベースにデザインされた。

風を受け、はためく船の帆をモチーフに交流や多様性を表現している。その姿は古くから、交流により発展し、多様性を受け入れながら、成長してきた福岡市が次のステージへ向けて前進するイメージと重なり、美術館のシンボルとしてはもとより福岡市の新たな顔としてふさわしいものとなる。



(設置イメージ図)



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

福岡アジア美術館 令和2年度事業報告

令和3年3月23日

令和2年度福岡市美術館協議会

目次

1 概要

2 事業について

(1) 展示活動

(特別展、企画展、コレクション展)

(2) 収集活動 (購入、寄贈、寄託)

(3) 交流事業

(4) 貸館利用

(5) 広報・集客に関すること 等

3 施設利用状況

4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

1 概要

- 開館 1999年3月6日開館
- 規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち1階及び7階、8階
建物面積151,595.91㎡のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡
- 展示室
 - 7階 アジアギャラリー、企画ギャラリー
 - 8階 交流ギャラリー
- その他施設
 - 7階 アートカフェ、ミュージアムショップ、キッズコーナー
 - 8階 あじびホール、交流スタジオ、図書閲覧室
- ギャラリー観覧時間 午前9時30分～午後6時（金曜・土曜は午後8時まで）
※ギャラリー入室は閉室30分前まで
- 開館時間 午前9時30分～午後7時30分 水曜日休館
（金曜・土曜は午後8時まで）

1 概要

■ 組織

※令和3年3月現在

- ・ 総館長
- ・ 運営部長（館長事務取扱）

運営課長	—	運営係 係長 1、事務 2、会計年度任用職員 5
学芸課長（交流係長兼務）	—	収集展示係 係長 1、学芸員 2、会計年度任用職員 2
	—	交流係 学芸員 1、再任用 1、会計年度任用職員 3

2 事業について

(1) 展示活動

(特別展、企画展、コレクション展)

(2) 収集活動 (購入、寄贈、寄託)

(3) 交流事業

(4) 貸館利用

(5) 広報・集客に関すること 等

(1) 展示活動

特別展

- ・ おいでよ！絵本ミュージアム2020 (新型コロナウイルスの影響により変更)
→オンライン開催 (8月14日～3月31日、アクセス数178,214回 [2月末時点])
- ・ 世界遺産 大シルクロード展 (新型コロナウイルスの影響により令和6年に延期)

企画展

- ・ ラオスの現代美術展 (新型コロナウイルスの影響により中止)

コレクション展

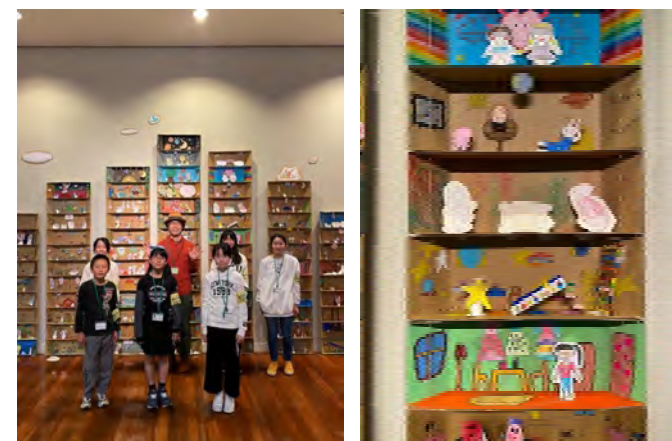
- ・ アジアの近現代美術 (新型コロナウイルスの影響により一部変更)

(1) 展示活動

オンライン開催

おうちで！絵本ミュージアム2020

会期	令和2年8月14日～令和3年3月31日 230日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
閲覧者数	アクセス数178,214回 ※2月末現在
内容	今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため子どもたちが実際に絵本を触って体感する美術館内の展覧会は中止し、「おうち」の中で絵本を楽しんでいただけるオンライン企画を開催。
会期中の主なイベント	絵本作家・岩井俊雄による「みんなでつくろう！100かいだてのいえ」



「みんなでつくろう！100かいだてのいえ」
展示風景

(1) 展示活動

コレクション展 アジアの近現代美術



黎明期から激動の現代へ
通期
アジアギャラリーA



メッセージ：アジア女性作家たちの50年
3/21 ~ 6/23
アジアギャラリーB



あじびへアカタログ
6/25 ~ 9/22
アジアギャラリーB

【中止変更】

シュガー&スパイス
1/2 ~ 4/13
アジアギャラリーB

新型コロナウイルスの影響により
新規追加されたコレクション展



久しぶりに再会してとてもうれしい
9/24 ~ 12/25
アジアギャラリーB



あじびde初詣2021
1/2 ~ 4/13
アジアギャラリーB

(2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

購入

- ・ リム・ソクチャンリナ 《国道5号線》 写真、2020年（3点）
- ・ コビール・アフメッド・マスム・チスティ 《繭》 映像・素描、2014年（1点）
- ・ ジハン・カリム 《原子力歯ブラシ》 映像、2011年（1点）
- ・ インド大衆宗教版画 オレオグラフ、19世紀末～20世紀前半（20点）

寄贈

- ・ インド美術 427点（絵画、大衆宗教版画）
- ・ ベトナム美術 41点（絵画、版画）
- ・ タイ美術 4点（絵画、版画）
- ・ 中国美術 101点（版画、素描、剪紙、写真、陶器）

寄託

- ・ 近現代美術 20点 ※個人蔵

(2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

購入

写真3点、映像2点、版画20点



《国道5号線-8》

リム・ソクチャンリナ（カンボジア）

90×60 cm、写真、2020年



《サラスヴァティー》

ラヴィ・ヴァルマー（インド）

70×49.9 cm、版画、20世紀前半



《繭》

チステイー（バングラデシュ）

アニメーション／素描、2014年

(2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

寄贈

写真1点、立体1点、絵画65点、版画504点、その他2点



《曲線》

タ・ティ（ベトナム）

47.9×63.8 cm、水彩、1960年



《剪花の娘》

クー・シューラン（中国）

101×54.4 cm、剪紙、1998年



《コミュニケーション・シリーズ4》

ツァン・シン（中国）

152.3×152.3 cm、写真、2000年

(3) 交流事業

交流事業について

- ・アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を当館に一定期間招へいし、地域住民とともに公開制作を行ったり、市民に対して研究成果を発表したり、学校の生徒に向けたワークショップを行うなどの、市民との交流に重点をおいたレジデンス事業を実施。その他、スクールプログラムを始めとする様々な学校との連携、ボランティア事業等を実施。

主な取組み

- ・レジデンス事業（新型コロナウイルスの影響により中止）
（美術作家・研究者招聘事業、受入支援事業、地域交流事業）
- ・学校との連携
（スクールプログラム、職場体験、博物館実習）
- ・ボランティア事業

令和2年度の新たな取組み

- ・オンラインワークショップ
（ワークショップのレシピ体験、3館連携認知症患者のための回想法プログラム）

(3) 交流事業

レジデンス事業

美術作家、研究者・学芸員等招聘事業

内容	都市の情景を生き物のようなインスタレーションにして表現するソウル在住のアーティスト、ネオン管を用いたインスタレーションを制作するマニラ在住のアーティスト
招聘期間	(新型コロナウイルスの影響により中止)



受入支援事業

内容	福岡で集めた素材で染色をおこない、平面作品を制作するセラゴール（マレーシア）在住のアーティスト。シンガポールの「ユナイテッド・オーバーシーズ銀行絵画展2019」マレーシア部門で最優秀賞を受賞
招聘期間	(新型コロナウイルスの影響により中止)



(3) 交流事業

地域交流事業

博多リバレイン灯明（「博多灯明ウォッチング」同時開催）

内容	博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、招聘事業で滞在しているアーティストが地上絵の制作をおこなう
招聘期間	(新型コロナウイルスの影響により中止)



事業紹介活動展示

あじびレジデンスの部屋

会期	令和2年4月1日～3年4月13日
会場	アジアギャラリーB
内容	交流事業の中心である招聘事業および受入支援事業の過去の取り組みをテーマを設けて紹介した。 第1期：今年度のレジデンス紹介 第2期：夏のワークショップ特集 第3期：川端商店街から生まれた 第4期：レジデンス成果報告展一福岡で出会ったひと



(3) 交流事業

学校との連携

スクールプログラム

内容	アジアギャラリーの鑑賞、アジアのアーティストとのワークショップ、スタジオ見学、アーティストや研究者によるトークなど
実施件数	10 件 336 人 ※2月末現在



ボランティア事業

内容	案内・解説：作品解説や施設案内、図書資料：配架整理および蔵書点検、アーカイブ：新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理、広報：広報誌や企画展ポスターなどの発送、読み聞かせ：絵本や紙芝居の読み聞かせ、活動支援：研修等の企画、交流：招聘アーティストのサポート (4~6月 新型コロナウイルスの影響により活動休止)
人数	202 人 ※2月末現在



(3) 交流事業

オンライン・ワークショップ

ワークショップのレシピ体験

実施日	令和2年9月13日
参加人数	29人
内容	<p>常設展示室における「夏のワークショップ特集」コーナーの関連イベントとして、ワークショップをオンラインでおこなった。</p> <p>①中国の剪紙を作ろう！ ②香港民俗芸術シリーズ：ゴキブリ</p>



3館連携認知症患者のための回想法プログラム

実施日	令和3年2月2・9・16・23・25日
参加人数	3人
内容	<p>3館合同で、所蔵品を使った連続ワークショップを実施。当館は、高齢者3人が「家族」をテーマにした作品を見ながら、家族との思い出を語り合った後、絵画作品を制作した。</p>



(4) 貸館利用

貸館利用

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー、あじびホール、アートカフェを貸出（ギャラリーは年2回募集、原則1週間単位利用）
- ・ 令和2年度利用状況（2月末）ギャラリー:41件 58,114人 ホール等:82件 3,899人
- ・ 協力企画展

原田治展 「かわいい」の発見

（R2.9.12～10.18） 33,435人

アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展

（R2.10.24～11.29） 7,157人



(5) 広報・集客に関すること 等

広報活動

- ・ 広報誌「あじびニュース」 Vol.81, 82, 83, 84 各号6,000部発行
- ・ 福岡銀行本店ロビー展を実施（R3,3,1～R3,3,5）展示作品の紹介等
- ・ 展示紹介動画の制作と公開（YouTube,美術館1Fエントランス）
- ・ SNSを活用し、館の運営全般や展示にまつわる事柄を紹介
Facebook/館の運営、図書、展示、作品紹介など
Instagram/「おうちでコレクション展」と題し、毎週学芸員が展示作品を紹介
Twitter/上記事項を不特定多数向けの情報として再発信

おうちであじび

- ・ R2年2月より、臨時休館中も当館のコレクションや展示に触れてもらうことを目的とし、ネット上に集中して情報発信をする事業を開始。現在も継続中。
- ・ おうちでコレクション展（画像・動画による所蔵品紹介） ・ おうちであそぼう！（ぬりえやカルタ）
- ・ おうちで知りたいアジアのアート（コレクション展のデジタル化）
- ・ おうちでアートカフェ（スタッフによる蔵書紹介）
- ・ おうちで何してる？（コロナ禍をテーマとした関係作家へのインタビュー）

(5) 広報・集客に関すること 等

集客事業・連携・協力事業等

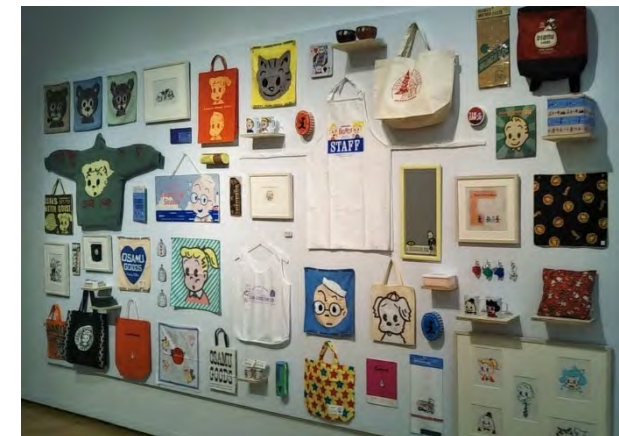
- ・福岡ミュージアムウィーク2020 (新型コロナウイルスの影響により中止)
- ・福岡市文化芸術振興財団との連携
 - 九響@アートカフェ プレミアムコンサート (R2.12.15)
 - ～プレバレンタインの夜に～ 美味しいコーヒーと音楽と (R3.2.12)
 - ダンスセレクションinアートカフェ (R3.3.5)
- ・協力企画展
 - 原田治展 「かわいい」の発見 (R2.9.12～10.18) 33,435人
 - アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展 (R2.10.24～11.29) 7,157人



九響@アートカフェ



ダンスセレクションinアートカフェ

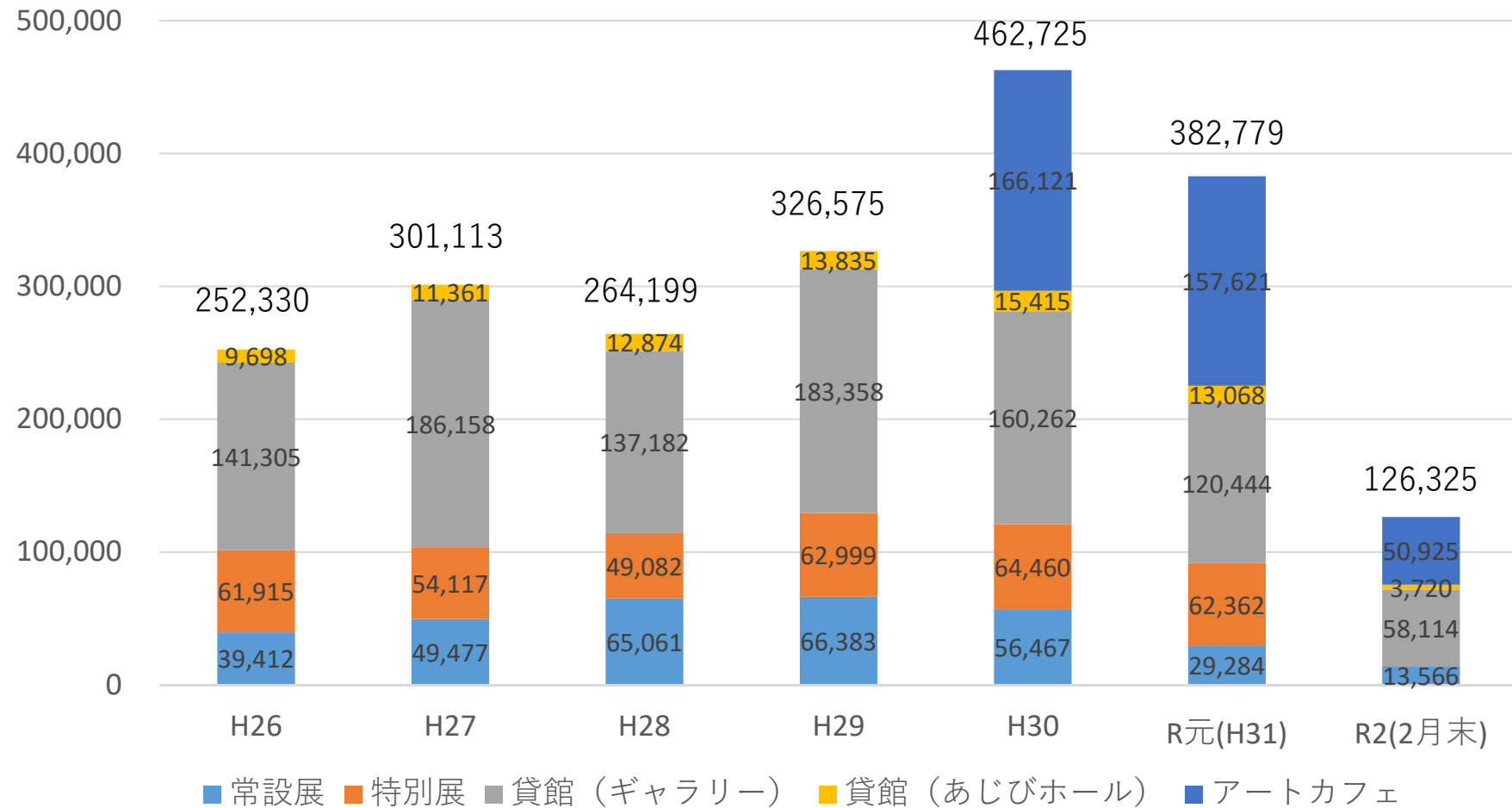


原田治展「かわいい」の発見 (主催：TVQ)

3 施設利用状況

施設利用者数の推移

(単位：人)



※新型コロナウイルスの影響によりR2.2.27～3.20、4.4～5.18は臨時休館

4 その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館

【令和元年度】 2 / 27 ~ 3 / 20

【令和2年度】 4 / 4 ~ 5 / 18

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 入館時の検温（7階サーモカメラ設置）、マスク着用及び手指消毒の徹底
- ・ 施設内の定期的な消毒
- ・ 利用人数の制限（展示室，ホール等）
- ・ 券売カウンターやレジでの飛沫感染予防（アクリル板等の設置）
- ・ 受付時等の来館者同士の距離の確保
- ・ キッズコーナーの利用中止 等

福岡アジア美術館 令和3年度事業計画

令和3年3月23日

令和2年度福岡市美術館協議会

目次

1 令和3年度予算案

2 主な事業、取組みについて

展示活動（特別展・コレクション展）

交流事業

文化芸術を活用した賑わい創出事業

（旧博多旧市街まるごとミュージアム）

1 令和3年度予算案

アジア美術館費予算案

内容	予算額 (千円)	備考
【歳入】	33,368	施設使用料、常設展観覧料、ふくおか応援寄付 など
【歳出】	253,431	施設管理、交流事業、展覧会経費、資料収集費 など

◇主な取り組み

Fukuoka City Wi-Fi (8階) の稼働開始

7階箇所（アジアギャラリー、企画ギャラリー、アートカフェ）は設置済み。
令和2年度宿泊税予算にて設置した8階箇所（交流ギャラリー、あじびホール、ラウンジ）のWi-Fiが令和3年度より稼働開始。

2 主な事業、取組みについて

特別展

ヒンドゥーの神々の物語（仮称）

会期	令和4年1月2日～3月29日 75日間
主催	福岡アジア美術館、福岡市文化芸術振興財団
内容	日本有数のインド大衆美術の個人コレクションおよび福岡アジア美術館所蔵品を核に、ヒンドゥーの神々のイメージの展開や信仰のありようを明らかにする企画展。古くはインダス文明の出土品にはじまり、17世紀以降の優美な細密画や大衆文化を彩った印刷物、現代の神話画など。彫刻・絵画・印刷物・写真など200点以上の作品と資料を通して、豊穡なる神々の世界を紹介。
会期中の 主な イベント	インドの舞踊団による上演、トークイベントなど



2 主な事業、取組みについて

特別展

おいでよ！絵本ミュージアム2021

会期	令和3年7月15日～8月22日 39日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
内容	子どもたちの感性や想像力・創造力を育むために、1000冊の絵本や原画の展示をはじめ、五感に働きかける多彩な仕掛けやイベント、絵本の世界に入り込めるような空間をプロデュース。14回目となるが、今年も子どもならではの感性の大切さを伝える。
会期中の主なイベント	ワークショップ等



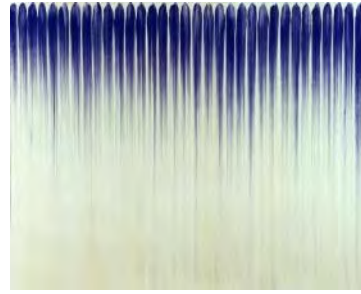
過去の会場風景

2 主な事業、取組みについて

コレクション展 アジアの近現代美術



黎明期から激動の現代へ
通期
アジアギャラリーA



感覚の宇宙—アジアの抽象美術
4/15 ~ 6/22
アジアギャラリーB

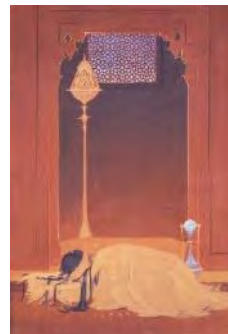


虫・ムシ・むし
6/24 ~ 9/21
アジアギャラリーB



わが黄金のベンガルよ
9/23 ~ 12/25
アジアギャラリーB

あじびコレクションX コーナー展示



ベンガル派と日本
4/15 ~ 6/22
アジアギャラリーA



怪物たちの時代
6/24 ~ 9/21
アジアギャラリーA



越境する柳景塚と郭仁植
9/23 ~ 12/25
アジアギャラリーA

2 主な事業、取組みについて

交流事業での主な取組み

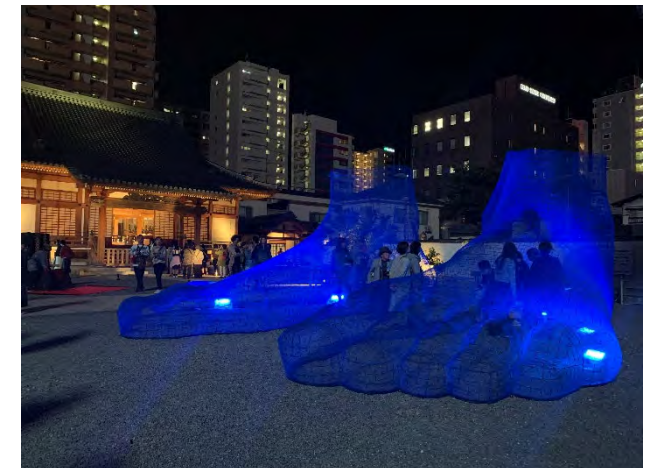
- ・レジデンス事業（美術作家・研究者招聘事業、受入支援事業、地域交流事業）
- ・事業紹介活動展示
 - 第1期：レジデンスことはじめータン・ダウ
 - 第2期：つくってふれてアジアの文化
 - 第3期：寺社をたずねて
- ・ワークショップ（アートカード等を活用）
- ・学校との連携（スクールプログラム 職場体験 博物館実習 など）
- ・ボランティア事業



2 主な事業、取組みについて

文化芸術を活用した賑わい創出事業 (旧博多旧市街まるごとミュージアム)

会期	令和3年10月下旬～11月上旬
会場	博多旧市街エリア
内容	福岡市の歴史・伝統・文化として今に残る博多旧市街の魅力を増進し、市民や国内外からの旅行者等に向けた情報発信を目的として、屋外型アートイベント（旧まるごとミュージアム）を開催してきた。次回は今年度中止した内容を引き継ぎ、アジアと日本のアーティスト6人の作品を寺社などに展示し、同エリア内の周遊と賑わいを創出する予定。



過去の会場風景